

県立がんセンター新潟病院医誌投稿規定および手引き

I 〈投稿者の資格〉

本誌に投稿するものは当院職員、当院と関係の深い者、および編集委員会にて依頼または承認された者とする。

II 〈原稿の種類〉

原稿は総説、原著、臨床経験、研究、症例、資料・統計、その他とし、他誌に未発表のものとする。内容は腫瘍およびその関連のあるもので、当院職員の研究、教育に寄与するものが望まれる。

III 〈原稿の申込〉

- 1 原稿は別に定める申込票とともに提出する。(提出原稿にも、標題、著者名所属を明記のこと。)
- 2 所属の書き方：当院の「病院概要」中の「病院の機構」に使用されている名称を使用する。
- 3 提出の際は、コピー 1 部を添付する。
- 4 提出の際、原稿とフロッピーディスクの両方を提出する。
入力媒体は、2HD、1.44MBの3.5インチフロッピーディスクで、MS-DOSフォーマットしたもの。
入力書式は、1校全角20字×20行で、保存形式は、テキストファイル(XXXXXXXXX.TXT)とする。

IV 〈原稿の様式〉

- 1 標題のページ
標題、著者名、所属、索引用語(Key word—分かりやすいもの5～6個以内)
- 2 本文
 - A) 論文の形式：要旨(400字以内で、必ず付けること) —はじめに—対象と方法(または症例)—結果(または成績)—考案—おわりに—文献—とする。但し、総説、資料・統計の体裁は自由とする。また、項目符号を使用する場合は、I…1…1)…などを使用する。
 - B) 原稿枚数は下記を原則とする。

	本文(文献を含む)	図・表
総説	20枚以内	10枚以内
原著	30枚以内	15枚以内
症例報告	15枚以内	7枚以内
その他	20枚以内	10枚以内

研究会等の抄録は、その都度抄録募集時に編集委員会が規定する。

原稿用紙は1枚20×20字のA4判用紙を使用する。

ワープロの際も、1枚20×20字とする。

- C) 学術用語は日本医学会又は各関連学会の用語集による。
- D) 外国人名、地名、化学用語は、原則として原語を用い、一般化したものはカタカナで書く。
- E) 薬剤名は一般名を用い、商品名はなるべく用いない。
- F) 論文中しばしば繰り返す言葉は略語を用いてもよいが、初出のときは省略してはならない。
- G) 数字は算用数字を用い、単位はCGS単位を原則とする。

記号はm, cm, mm, u, mu, g, mg, l, ml, °C, pH, N, M, Ci, mCi, uCiなどを使用する。
省略点は打たない。

- 3 図・表・写真はその説明をつけず、本文中に挿入希望箇所を明記する。
写真は全てプリント(手札版以上)とし、天地を記載する。原則として、カラーは受け付けない。
図は、原則として原稿のまま印刷されるため、太字で黒インキを使用する。
- 4 標題、索引用語(Keyword)、図・表の表題はなるべく日本語が望ましい。

5 文献

引用文献は論文に直接関係するものとし、引用箇所の上肩に番号をつける。文献欄には、引用順に次のように列記する。

A) 雑誌

引用番号) 著者名：標題. 雑誌名 (略名).
 卷 (号)：最初ページ-最終ページ (通しページ), 年.
 (例) 1) 加藤清, 赤井貞彦：胆道癌危険因子.
 新潟がんセンター病医誌. 25(2)：80-83, 1986.
 2) Fortman CS, Witte DL:Serum5'-nucleotidase inpatients receiving
 anti-epileptic drugs.Am J Clin Pathol.84(2)：197-201, 1985.

* 著者名については、多数の場合は3名までの記載とする。

* 国内誌は、医学中央雑誌収載誌略名を、国外誌は、PubMed Journal Data baseのTitle Abbreviationに準拠。

B) 単行本

引用番号) 著者名：書名, 初版以外の場合はその版. 引用ページ. 発行所. 出版年.
 (例) 3) 佐々木壽英, 赤井貞彦：新潟県の胃癌. p76. 新潟県立がんセンター新潟
 病院. 1986.

C) 編者と著者が異なる単行本

引用番号) 著者名：標題：書名. 初版以外の場合はその版. 編者. 引用ページ. 発行所.
 出版年.
 (例) 4) 小越和栄：胃潰瘍の再発率：消化性潰瘍の新しい展開. 北島政樹ら編.
 p333-345. 蟹書房. 1986.

D) 電子文献

引用番号) 著者名：標題. [引用日]. URL
 (例) 5) 県立がんセンター新潟病院：放射線治療. [引用2001-7-1]
<http://www.niigata-cc.jp/>

V 〈原稿の採否および審査〉

- 1 投稿論文の採否は編集委員会が行う。
- 2 編集委員会は、投稿原稿について加除、訂正を求めることがある。

VI 〈校正〉

- 1 校正は3校までとし、著者は再校までを行う。
- 2 校正は誤植に限る。内容の加筆補正は避ける。

VII 〈別刷〉

- 1 掲載論文（抄録類は除く）の別刷は30部まで無料。これを超えた分については、実費有料となる。
- 2 掲載済原稿は著者に返す。

VIII 〈刊行回数と募集時期〉

- 1 刊行回数：年に2回とする。
- 2 発行時期：3月、9月とする。（原稿募集締め切り：6月末、12月末）

IX 〈ホームページ全文掲載〉

本誌は当院ホームページに全文掲載される。<http://www.niigata-cc.jp/Tosho/Ishi/>

X 〈その他〉

本誌の刊行および関連事項について、必要あれば編集委員会で協議して決定する。